S E|N|TAMUE|M|Ŕ

C

信・Nさんへ

<文/演出家・豊島重之>

我楽多屋第5回公演『ハンプティダンプティの行進』劇評

リスは夢どころか現実の「外」へ、 ジもめくられようとしており、ア のであれば、もはや最後の一ペー って、何かが起こるほどアブナイ それはまだ書物の中のアリスであ スだったか。現実の木陰とはいえ、 たか現実の木陰にとび起きたアリ 口にしたのは夢の中のアリスだっ ない! 何かが起こる!」 そう なって被告の少女を襲う。「あぶ 組のトランプがギロチンの刃と 赤の女王は金切り声をあげる。

> れようとしているのではなかった つまりは書物の「外」へ放り出さ

しまい!

「あの子の首をちょん切ってお

ただナイテいた。」泣くのではく 誰の『痛み』なのか?/ 『 』は して割り切れないこと。/それは いもの。/割り切れることと、け だ。/形あるものと、形にならな びるとしたら今年は『金曜日』 引き絞るわけがない。「世界が滅 リフにNさんが危機感をギリギリ のラストシーン、とりわけこのセ くば『不思議の国のアリス』のこ にさしかかったのですね。さもな Nさん。いよいよ「あぶない橋」

それも「木とページ」・「名と ですから。 ならぬあなた自身が踏みだしたの られた地雷原において。そこに他 数」・「写真と不能」がちりばめ は「アリスが起こる」ということ。 つまりNさん。何かが起こると

をかぶっていたのですから。

宣告から無期懲役への差し戻し ニュータウンと呼ばれる無菌室め 儀式アングリ(ムカツクの英語) れたという「ネコの目法廷」だけ 権さえもなく、あるのはただ極刑 所も15才という自己決定「不能 いたポストコロニアルな強制収容 もその供物にあてるネコの首も、 ナグラム)も自己透明化のための た。もとより彼には信ずべきバモ たちとの極貧の日々を小説(新日 うな木の橋と、青森県での母や弟 Nくんもまた、今にも崩れ落ちそ 接しました。犯行当時19才だった 本文学賞受賞作)に書いたのでし イドオキ神(死んだ祖母の名のア 転して再び死刑判決に差し戻さ 昨日、Nくんの死刑執行の報に

だった・・・・。 そうですNさん。あのトランプ

フツ・カラジッチ風チャビンデワ 王国の、いかにもポルポト・ツチ

ダンプティ!)の「新しい不毛」

ンタルならぬ「茶番でファンダメ

ゆえに。

理学の巨匠ラッセルに決定的なヒ 家まがいの冥暗な性的不能者の顔 ントを与えたほどの明敏な頭脳 が、実はひそかにチャイドル写真 騒の中でひとり惰眠をむさぼる赤 の王、すなわち不在の父、仮死の まな再演。それこそ異端審問の喧 の当てこすりめいた擬態の明らさ 然にはさまれてラチもなく眠りこ 屋と三月ウサギに両側からラチ同 茶番のティー・パーティで、帽子 ング・イズ・アスリープーあの それをあなたは副題に託した。キ 告)が下されるのはアリスのネコ タル・センテンス=主文(極刑宣 目法廷において、いきなりキャピ ンタル (原理主義的)」なネコの 「法」にほかなりません。 るネムリネズミ。頭を入れる穴 け、しまいには二人に頭からティ 寄り発言がきっかけでしたよね。 (帽子)と穴に住む頭(ウサギ) ーポットの口に体ごと押しこまれ

に、怒りの母=多情の母(赤の女 多産の母(白の女王)の多産ゆえ あるいは引きつづく断罪を回避し 母によって断罪されたからです。 ぞ。」これが法の手口です。では つセックスレスの母(ハンプティ かで無関心かつ非情の母=不妊か 王)の多情ゆえに、そして冷やや ようとするためです。嘆きの母= めこむのか。三匹のネコ=三人の なぜネズミ=父は死んだふりをき いるようにしておくためなのだ をおまえがどんな時も忘れないで ひらにすぎない。おれがこうして 眠りこけてみせるのは、そのこと 「おまえは眠りの中の夢のひと

> 発動させたのではありませんか? 見ぬいて「鰐の口」をもつ主文を 言を三人目の母との自己同一化と は、いち早くアリスのネコ寄り発 った。だからこそ「ネムレル法」 つ非情な闘争の口火をあなたは切 ていくかという、まさしく不毛か を「法」に対してどう「口」にし 非情をどう肯定するか、その肯定 唸りをあげています。この不毛と の橋と「頁」の端が突きささって ここにNさん、あなたの「木

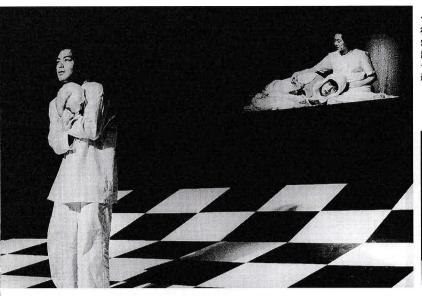
の恫喝にものらないストーイシャ 口のへりからへりへと目まぐるし 限をくまなく映しだす鏡なら、そ く散逸する、大口の誘惑にも無口 ど何ものにも限定されることなく ことのない写真的不毛の地、けれ の裏側、もはや何ものも映しだす 震撼させたストア派哲学のよく知 ラトン派哲学の核心たる「法」を ンの「小口」のことなのです。 られた「口」です。法が内界=無 口から荷車が出ていく。これがプ 届かない。あなたが荷車と言えば れた矢は宙に止まったまま的には は永遠に亀に追いつけない。放た すが、それをそのままジャンク哲 たのには驚かされました。亀より スとの鍔ぜりあいとして舞台化し 学の開祖ストア=STOAとアリ トア=JUNK STORE」で 名を英語にすると「ジャンク・ス 歩おくれて走りだしたアキレス ところでNさん、あなたの劇団





この前口上にあなたはアリスの名 『ヨゼフィーネ』のネズミ鳴き? が? 啼きウサギそれともカフカ なく鳴く・啼く? しかも 『』

異和・疎隔のアリエン(エイリア ナグラム(字換法)だし、言語論 ズ・ラトウィッジ・ドジソンのア ス・キャロルとは数学者チャール だって『アリス』の作者名ルイ る無限ではなく外なる無限定の ァント (割り切れない数)。内な オット(割り切れる数)とアリク ン)に数学的操作を施したアリク の来歴をしのばせました。異人・ 「何か或るもの=アリクィッド」。



-ジーシアター我楽多屋 第5回公演『ハンプティダンプティの

行進』(7月12日・13日、WALK八戸パラボラにて公演)

STORY▶男は、不思議な夢を見る。愛する妻がさらわれ、その後を追いかける先々で 出会う不思議な人達。男は、迷い込んでしまったのか?誘い込まれたのか?男、女、 その子供。何を望み、何を欲し、何に飢えていたのか。それぞれ広げた両腕の中に、 最後、何を抱くことができたのか…







の卵と卵のカラ

(殻)

スではなく木を見ながら話すの 否かという物語だったわけです。 はもうお見通しのことでしょう。 がおかしいハンプティダンプティ かった卵、 空席をへて、 木陰で眠っているのだ。」 ハンプティダンプティが常にアリ じくトゥイードルディ・トゥイー ンパーは意気阻喪させるの意。 『アリス』はネコ 「おまえは誰かのアナグラム、 ルダムの原義はひねくりまわ 無為にすごすの意。 を往き来するウサギ穴 おまえは実は今の今、 にアリス自身が同化するか 転げて落下しないほう ハンパーは煩わす、 塀の上のへりに乗っ つまりは 母 とネズミ Nさんに 「撮られ あの 、置名 同 ダ

の棚=チェスのブランク・茶会の 払い)、みるみる動きまわるカラ さらにあなたの ンス=非意味」の闘争に地歩を移 センス=無意味でもなく ワカラナイと言った多くの善意 た言明に尽きる。あなたの舞台を 全ての問いはこのカラカラに乾 で述べてきた にそう言い切ってみせた。これま あなたはアリス的問題系をみごと まずアリスは羊のストアで卵を買 いうものがワカラナイだけなので したことがワカラナイのであり、 あなたがもはや意味でもナン そう迫かずにとって返せば (それと知らずに言葉で支 「法と口」 「新しい悪意」と 「ノンサ

なかったでしょうか。 2・22ウサギ」の赤い耳に囁か 根 新作詩を三月ウサギなら (ちょうじゃ/長の一語がなま (プリ)、根源 に来八した詩人吉増剛造 ・・・・八戸は、 しばらく長目 ぶふと 山のひるさが (クンボン)、 丘の尾の並 という (ながめ P U T

7

者

不思議な並木道

東京で公演!

た。 さん、 書いてみたいものだと断りまし たの か 本演劇の最前線に亀裂を入れるも は て、 並木道=コロネードはパサ です。Nくんの別の小説 =抜け穴やSTOA=回廊 御返信なら次回の新作で。) 今回それが可能だったかどう 舞台を対象としない舞台評を 何か凶暴な 「サイバ あなたから舞台評を頼まれ とすればNさん。 P. ー・ジャンク演劇 S. 尾 を引いて日 異水

劇団やませが

これはもう立派な分裂病少女なの アブナイのか? こる!」とうっかり口にしたなら、 に応えて「あぶない! めかしているのだ。それがなぜ 耳 同然ではないか」 かもしれない。 そう囁いたのは 「おまえは眠り 何かが起

Friday Amusement N egative

、先日、

ダンスオペラ

我が内なるラピュ

~前原寅吉の夢~

東京公演は、平成9年度文化庁芸術祭主催・(財)現代演劇協会制作の三百 人劇場で行われる第13回地域劇団東京演劇祭に参加するもの。全国からたくさ んの応募・推薦劇団の中から、脚本及びビデオ審査の結果、その内容の質の高 さから選ばれた、劇団やませの「我が内なるラピュータ~前原寅吉の夢」。八戸 市民劇場11月例会にも決定。お見逃しなく!

11月1日出午後2時~、午後7時 B 時 11月2日印午後2時~

三百人劇場 所

東京都文京区本駒込2-29-10 ☎03-3944-5451

入場料 前売2,800円(当日3,000円)

【問合わせ先】 劇団やませ事務局/八戸市鮫町字下松苗場14-183(柾谷方) ☎33-3850 劇団やませ稽古場/八戸市青葉2-2-13 ☎44-8893

~金曜夜は、ほんつけないと観てナイト~ ■19日 未定 時間 19:30~ 料金 ¥500 ■5日 人形の家 ■26日 アコースティックライブ 構成/平醇健悦 構成/富沢知成 出演/平葭健悦 ほか 出演/富沢知成 ほか ■12日 タイトル未定 スペース ペン 八戸市柏崎一丁目11-8 構成/安達良春

FANS番外編

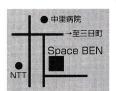
出演/安達良春

いずれもプロによる、アコースティックライブです!!

■3日 西尾まさきライブ 出演/西尾まさき

※19:00開演 入場料¥2,000

■15日 西岡共蔵ライブ 出演/西岡恭蔵、高坂一潮 ※19:00開演 入場料¥2,000



☎ & FAX 0178-43-9876

車でのご来場はご遠慮下さい。 (近くに西町書店駐車場有り)